

■第4回会議（9月11日）では、こんな話をしました

4月に各部署の皆さんから回答を得た「市民が関わる取り組み調査シート」の完成に向けて、話し合いました。ワーキングメンバーで分担して回答内容を確認したシートを持ち寄り、全員で項目の過不足や内容の間違いなどがなかったかを再確認しました。10月下旬頃には、シートの内容についての最終確認を各部署にお願いする予定です。

10月5日（月）には、第3回市民参画協働懇話会に参加しました。市民側である懇話会の委員と、行政側である協働ワーキングのメンバーが、長岡京市の協働によるまちづくりについてワークショップ形式で話し合いました。その報告は次回のニュースで！

ワーキングメンバーのつぶやき vol.③

つづやき人：伊藤元紀（人権推進課）

協働についていつも考えることは、しなければならない協働ではなく、したいと思える協働をしていきたいということです。



私は、長岡京市のまち中にポツポツとあるような自然が好きです。長八小横の桜と菜の花畑、JR長岡京駅前の並木道の紅葉…など。このような長岡京市の緑のスポットを自分も作っていききたいと思い、みどりのサポーターとして市内の清掃・緑化ボランティアに参加しています。活動場所はJR長岡京駅前のロータリーです。草刈りやゴミ拾いは疲れる作業ですが、きれいになると充実感がわきます。

この活動が、誰かに言われてやらされているようでしたら、やる気はおきないでしょう。行政ではまかなえないから市民にも手伝ってもらおうという考え方は、決して協働ではないと思います。

協働の第一歩は「このまちを好きになるということ」だと思います。愛着のないまちのために何かしようとは誰も思わないのではないのでしょうか。長岡京市は本当に魅力的なまちです。そして協働は、これからのまちづくりにとってとても大切なことです。でもその前に、市民と行政がともに、このまちのこんなところが好き、といったことを話し合えたらいいなと考えています。

【協働ってな～あに？その③】

協働についての疑問・質問を、“長にゃん”が明快に答えます。



協働っていても、実感がわかないんだけど…。



「みどりのサポーター制度」を知ってるかな？

市民みなさんが自主的にグループをつくって、市内の公園や道路を掃除したり、花を植えたりする取り組みなのよ。市は、グループをとりまとめたり、用具を貸し出したりと、活動しやすい環境づくりをしているにゃん。

お互いの得意な分野をいかして、まちをきれいにしていこうという協働の取り組みなのよ。自分たちの住むまちがきれいになったら、みんながうれしいにゃん。

サポーターが活動している場所には看板が立ててあるから、お散歩しながら探してみてくださいね。

* 次回の市民参画協働ニュースは12月上旬に発行予定です。

* 協働に対する疑問・提案・思いなどは、お気軽に下記までお寄せください。

メールアドレス：shiminsankaku@city.nagaokakyo.kyoto.jp